Asec Frontier

ASEC COIN

東南アジアの貧困問題解決、
巨大都市開発計画を担う仮想通貨プロジェクト
タイの元首相、外務大臣、国立大学理事、財団、慈善団体
あらゆる政財界の支援を受け、遂に始動

購入方法を確認する

ASECコインを購入する

ご挨拶 – この資料は「 ASECコインの販売資料 」です –

将来有望な新興コインをお探しの皆様へ

わたしたちはASEC FRONTIERの日本総販売代理店として、ASECコインを販売しております。

ASECコインは東南アジアの貧困救済を目的に開発された仮想通貨であり、
タイ国内の事業コストを削減する通貨として、普及・流通が予定されています。

ASECコインをはじめとした当プロジェクトは、皆様からのご支援によって支えられ
支援者が増えれば増えるほどに事業は進捗し、貧困問題解決へとつながっていきます。

この資料では事業を推進する組織・責任者の紹介に加え、価値を高める事業戦略、
貧困問題の解決法、コインの購入方法や管理方法について詳しく記載されております。

資料をご覧の上、当プロジェクトに可能性を感じていただけた場合は、
ぜひ、ASECコインの購入・保有をご検討ください。

※ 正しい呼称は「暗号通貨」ですが、便宜上、仮想通貨で統一させていただきます。

目次 クリックするとそのページへ移行します

1 **仮想通貨バブル、到来**
– 仮想通貨バブルが起こると言い切れる４つの根拠 –

2 **仮想通貨 ASEC COIN**
– 仮想通貨長者を生み出す新興コイン –

3 **事業目的**
– ASECコインの最高顧問に就任したタイの元高官 –

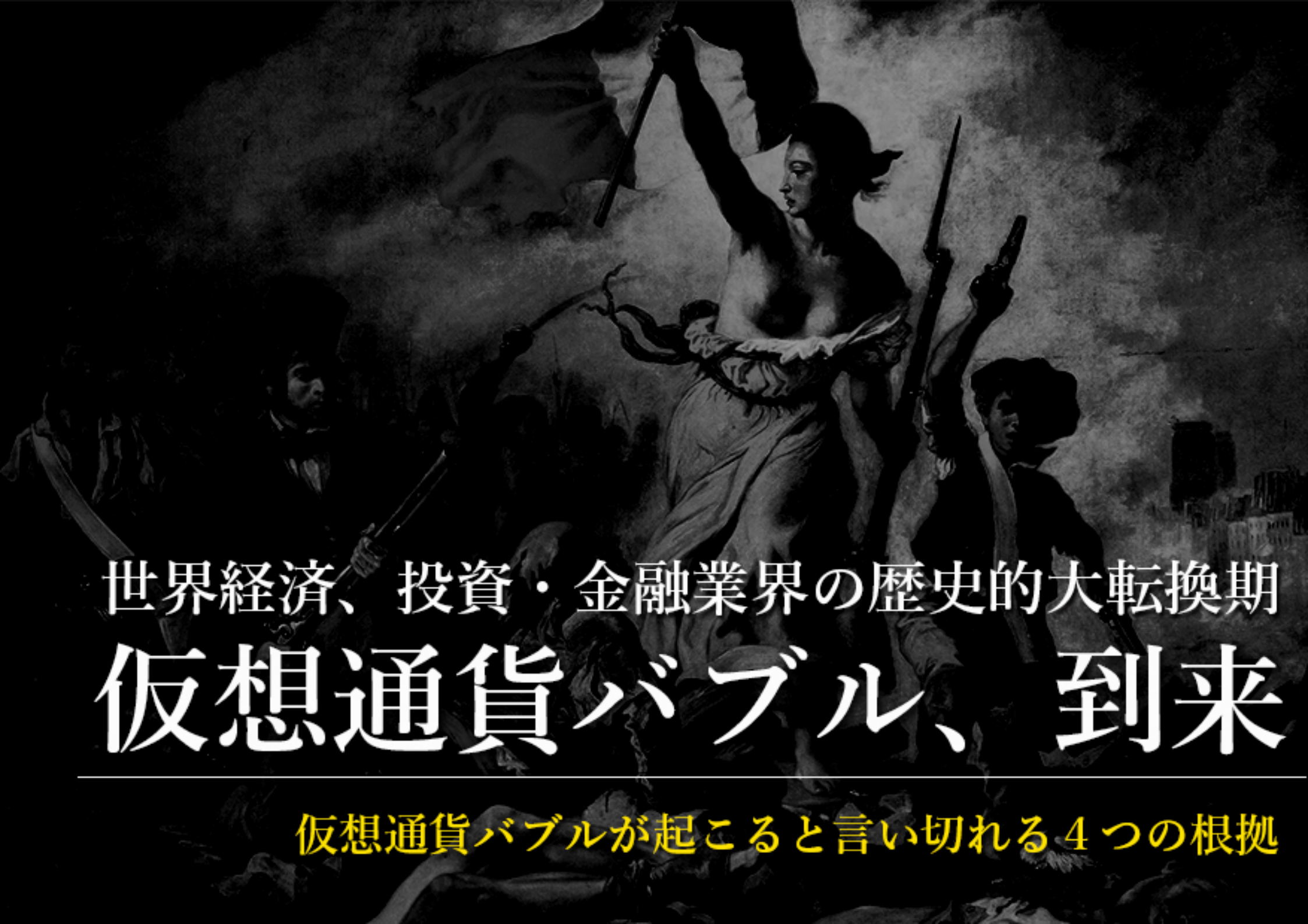
4 **運営組織**
– ASECプロジェクトの運営組織とDr.タパナ –

5 **事業戦略**
– 貧困問題を解決しASECコインの価値を高める戦略 –

6 **ASECコインの購入を希望する方へ**
– 購入目的、販売価格、購入方法、管理方法 –

7 **よくある質問**
– ASECプロジェクトは仮想通貨詐欺か？ –

8 **ASECプロジェクト：まとめ**
– 最後にもう一度、プロジェクトの詳細を確認します –



世界経済、投資・金融業界の歴史的大転換期

仮想通貨バブル、到来

仮想通貨バブルが起こると言い切れる４つの根拠

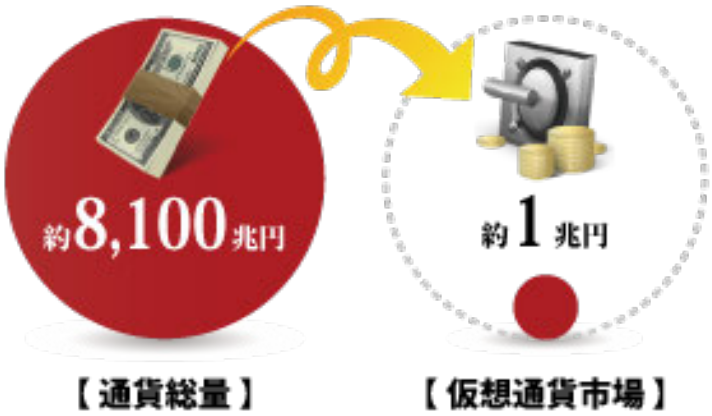
▶ 今から向こう数年にかけて“仮想通貨バブル”が始まります

約１兆円。

これは現時点での仮想通貨の市場規模です。

約6,000兆円。

こちらは現時点で推定されている“未来”の仮想通貨の市場規模です。



仮想通貨の市場規模は、今年から**５年以内で約6,000倍に拡大する**と予測されています。

世界の通貨総量は約8,100兆円と言われており、
その金額が **仮想通貨と入れ替わる** という見方です。

業界の有識者たちは数年以内に「産業革命以来の経済革命が起こる」と考え、
これから先、**何人もの仮想通貨長者が現れるだろう**という見解を示しています。

わたしたちは、この時代の流れを **「仮想通貨バブル」** と呼んでいます。

▶ 2017年が「 仮想通貨バブル“元年” 」です

１兆円の市場規模が6,000兆円に膨れ上がる激動の最中に**「仮想通貨バブル」**は起こります。

わたしたちは、このチャンスを狙っていました。

数年前からビットコインや新興コインをたくさん保有し、
仮想通貨を普及させようとするマーケティング会社や取引所
銀行などにも**積極的に投資を行いながら機を窺っていました。**

そして、2017年。

遂にバブル到来です。

「仮想通貨バブルの波が目に見えるところまで近づいてきた」

おそらく多くの人がそのように感じ始めていると思いますが、その感覚は正しいです。

仮想通貨バブルが起こると言い切る理由は大きく分けて４つあります。

▶ 仮想通貨バブルが起こると言い切れる４つの根拠

仮想通貨バブルは確実に訪れます。

既に時代は仮想通貨バブルに向けて動き始めています。

以下に挙げる４つの根拠が、その状況を物語っています。

- **根拠１ ⇒ 日本が仮想通貨を通貨と同じような機能があると認めた（衝撃的な出来事）**
- **根拠２ ⇒ メガバンクが独自の仮想通貨を発行（仮想通貨バブルの兆し）**
- **根拠３ ⇒ 黒幕は世界を代表する巨大財閥（知られざるメガバンクの事実）**
- **根拠４ ⇒ ブロックチェーン技術がとても革新的である（有識者は満場一致）**

ここではそれぞれの根拠について、要点をお伝えいたします。

根拠１　日本が仮想通貨を通貨と同じような機能があると認めた

2017年4月1日、改正資金決済法が施行されました。
これは異例の事態です。

改正資金決済法は**「仮想通貨を通貨と同じ機能として認める法律」**
であり円以外の通貨を認めるのは日本国史上はじめての出来事です。

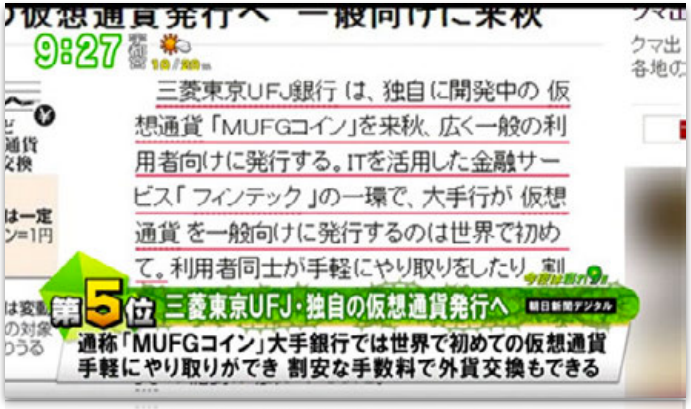
そして、この法案が仮想通貨バブルを引き起こす要因となります。

実際、改正資金決済法の動きに併せて日本のメガバンクが一斉に動き出しました。

根拠２　メガバンクが独自の仮想通貨を発行

改正資金決済法を制定させたかったのは誰か？
日本のメガバンクです。

2017年秋、三菱東京UFJ銀行は独自の仮想通貨を発行します。
みずほ銀行や三井住友銀行も仮想通貨発行の準備を進めています。



メガバンクが一斉に仮想通貨に取り組みだせば
仮想通貨へのマイナスなイメージは簡単に払拭されます。

となると、そこからバブルの波は大きく加速し始めます。

では、なぜ日本のメガバンクは法律を変えてまで仮想通貨を普及させたいのか？
実は、**そこにこそ仮想通貨バブルを確信する要素が潜んでいます。**

根拠 3　黒幕は世界を代表する巨大財閥

仮想通貨を普及させたいのはメガバンクでありません。

JPモルガンやロックフェラー系列などの外資系企業です。

彼らは三菱東京UFJ銀行の株式を保有しています。

そして、彼らの保有比率の総計はなんと25%以上を占めています。

この数字は保有比率第一位となる数字です。

つまり、三菱東京UFJ銀行の実質的な大株主は外資系企業となり
日本のメガバンクが外資系企業に支配されている事実を示しています。

彼らはメガバンクの看板を利用して
強制的に仮想通貨を普及させようとしています。

そして、合法的に日本の富を奪いにかかろうと企んでいます。

仮想通貨であれば、それが可能だからです。

彼らが普及させるといえば、望む望まないに関わらずそうなることを歴史が証明しています。

**IT革命やリーマンショックのときと同様に、
世界を代表する超・巨大財閥が意図的にバブルを引き起こそうとしている。**

それが **バブルの訪れを確信させる根拠** です。

根拠 4　ブロックチェーン技術がとても革新的である

最後の根拠は「技術」です。

仮想通貨を支えているのはブロックチェーンというプログラミング技術です。

詳しい説明をはじめると長くなるため割愛しますが、
この技術は「世界の在り方を根本から変える」と言われています。

それだけ革新的な技術だとご認識ください。

普段いがみ合っている頭のいい人たちもブロックチェーン技術に関しては
満場一致で「革命的な技術」だと賛同するほどです。

つまり、**世界はもう仮想通貨やブロックチェーンを無視できない状況**にあるのです。

ブロックチェーンは世界のあり方を変えます。それも数年から十数年先の近未来の話です。
時代は、世界は、技術は、わたしたちの予想以上に大きく速く移り変わっています。

▼

仮想通貨バブルが起こると言い切れる根拠

根拠１ 日本は仮想通貨を通貨と同じ機能として認めた

根拠２ メガバンクが独自の仮想通貨を発行

根拠３ 黒幕は世界を代表する巨大財閥

根拠４ ブロックチェーン技術がとても革新的である

結論

仮想通貨バブルは“確実”に来る
そして、次々に仮想通貨長者が生まれる

仮想通貨バブルの時流に乗る具体的な方法は

“新興コインを購入する”

ここからはバブルの乗り方についてお話していきます。

来るべき仮想通貨バブル期に仮想通貨長者となる具体的な方法は「新興コインの売買」です。

ビットコインを思い出してください。
ビットコインが登場して間もない頃は、得体の知れない、謎の投資案件でした。
しかし、一般の人が自由に売買できるようになってから７年程で15万倍以上の価格となりました。

15万倍という数字がどれだけ強烈か、想像できますか？

当時１万円分のビットコインを購入していたら、今では15億円になっているということです。

世界には実際にいるのです。
ビットコインで大金持ちになった人々が。**ただし、もうビットコインでは仮想通貨長者にはなれません。**

仮想通貨長者を目指しているのであれば、ビットコインなどのメジャーコインではなく、
将来有望な新興コインを見つけることが重要です。

将来有望な新興コインを見つけ、初期の安いときに買っておく。

そうすれば、何もせずにほったらかし、数年眠らせるだけで、価格が数百倍や数千倍上昇となり
仮想通貨長者への道が開けるのです。

価値が高まる新興コインの見極め方

現在、世界中には3,000種類ほどに新興コインが発行されています。

しかし、その大半は無価値のまま消え去ってしまうコインであったり、
そもそも普及させる気のない詐欺コインであったりします。

では、どのような基準で新興コインを選べばいいのか？

その見極め方は大きく３つあります。

「目的、組織、戦略」です。

１つめの見極め方は「使用目的が明確」であること。

その仮想通貨は何のために開発されたのか、
その仮想通貨でなければならない正当な理由があるのかどうか。

ここがもっとも重要です。

あなたのもとに仮想通貨の勧誘がきたら、真っ先に使用目的を確認してください。

そして、もし「通貨として世界で普及させます」という目的であった場合は、
絶対に乗ってはいけません。なぜなら、通貨としての仮想通貨はビットコインで十分だからです。

ビットコインは世界の法定通貨の代わりとなる役割を持って普及しています。

もうすでにビットコインという世界で普及させる目的を持ったコインがあるのに、
同じようなコインは必要ありませんし、社会から求められることもありません。

２つめは「運営する組織」です。

仮想通貨を社会に普及させるには相応の資金力、人脈、ネットワークが必要です。

そのため運営元となる組織も重要なポイントとなります。

おおまかな基準として**「公的な仮想通貨案件」**であれば、話を聞く価値はあると思います。

公的な、というのは国家、政府、銀行、王族、財閥のような組織です。

ただし、最近では「政府公認」「政治家がバックアップ」「大企業が支援」と謳いながら
それらを証明するものや実態のないものが乱立しています。

ですから、運営元の組織を見極める際には、

・公的な組織や人物が関与しているか？
・公的な組織や人物が関与している証拠はあるか？

を正確に把握するようにしてください。

そして、最後となる３つめは「コインの価値を高める戦略」です。

仮想通貨市場は、まだまだ新しい市場です。

そのため派手なプロモーションを行っている仮想通貨や
よく名前を見聞きする仮想通貨はそれだけで価値が高まりそうに思えてしまいます。

しかし、価値が高騰するかどうかは流通量を増やす戦略に左右されます。

従って、**目の前の仮想通貨は今後どのように普及されていくのか、**
どのような理屈で流通量が増え、価値を高めようとしているのか
その説明がきちんとなされているかどうかを、確認してください。

真っ当に仮想通貨の普及を目指している組織であれば、
特定の使用目的に沿った戦略がきちんと用意されているはずです。

特定の使用目的、公的な人物や組織、価値を高める戦略。

これらに正当性を感じることができれば、
その新興コインはあなたを仮想通貨長者に導く可能性が高いといえます。

そこで、ここからはASECコインの概要、目的、組織、戦略について詳しく解説して参ります。

仮想通貨 ASEC COIN

仮想通貨バブルの時流に乗り、仮想通貨長者を生み出す新興コイン

東南アジアの貧困問題を解決し
仮想通貨長者を生み出す新興コイン

ASEC COIN

Asean Southern Economic Corridor

プレセール終了期間：2018年12月頃を予定

販売価格（初価）	価格変動	総発行枚数	マイニング期間
1ASEC＝10セント～	販売量に応じて毎月更新	3,000,000,000枚 （30億枚）	10年 マイニングマシーン：GPU

ASECコインのブロックチェーン

ASECコインはイーサリアムブロックチェーンをベースに改良を加えた、ASECオリジナルのブロックチェーンの上に成り立っています。

※イーサリアムベースのブロックチェーンはオープンソースのソフトウェアなので独自に改良が可能

・特定の中央管理組織が存在しない分散型台帳技術
・セキュリティ性に優れ、取引履歴の透明性も高く、改ざんはほぼ不可能
・ブロックの生成時間は約10秒（ビットコイン10分、イーサリアム15秒）
・イーサリアム同様、スマートコントラクトの記述も可能
・POSとPOWのハイブリッドタイプ
・「ASEC」と呼ばれるASECコインの報酬を目的としてマイニングも可能

**ASECコインのブロックチェーンは2018年11月頃に完成予定です。
ブロックチェーン完成後、ウォレットアプリをリリースし、
保有コインの管理、決済、送受信を簡易的に行うことができるようになります。**

※ブロックチェーン・アプリの完成時期には進捗状況により変更される可能性があります

ASEC FRONTIER **最高顧問**

Dr.カセー

・タイ政府の保健大臣、外務大臣、首相府大臣を歴任
・アジアのノーベル賞と呼ばれるマグサイサイ賞を受賞
・日本から外国人に贈られる最高位の勲章旭日大綬章を受章
・東南アジアの貧困問題を解消する慈善団体「ADPC」創設者

タイ政府の要職を歴任し、
生涯を自国に捧げ続けた高官が
人生最後のプロジェクトに選んだのは
ASEC COINによる東南アジアの貧困救済でした。

PROFILE

Dr.カセーの経歴と実績

1961年 ー 国立チュラロンコン大学医学部卒業（タイの東大と呼ばれる最難関大学）
1961年 ～ 大学卒業後、医者として大学教授として
1974年　　コンケン県ポン郡保健所郡の公衆衛生の普及と地域医療の開発に尽力をつくす
1973年 ー マグサイサイ賞受賞（アジアのノーベル賞）
1974年 ー 下院議員
1979年 ー 保健副大臣
1986年 ー ADPC設立（東南アジアの貧困救済・災害支援を目的とした慈善団体）
1991年 ー バンコク都副知事
1992年 ー 国会外交委員会委員長
1994年 ー 大学庁庁官
1995年 ー 外務大臣
2001年 ー 首相府大臣
2002年 ー 首相府顧問
2004年 ー 旭日大綬章を受章（外国人に贈られる最高位の勲章）
2006年 ー Dr.カセー・チャナオン財団設立（東南アジアの経済発展・地域医療に貢献）
2016年 ー ASEC FRONTIER最高顧問に就任
現在　ー 国立ナラティワート大学、小学校、中学校など複数の学校の理事長を兼任

Dr.カセーの想い

Dr.カセーの半生、タイ・東南アジアの現状とこれからの未来
ASEC COINプロジェクトへの想いを伝えるメッセージビデオを公開

動画公開

※クリックすると動画が流れます

タイの東大。
最も有名で権威ある大学を卒業

荒れた土地、貧しさ家庭、荒んだ環境…
決して恵まれなかった幼少期にも挫けることなく、勉強に明け暮れ
タイの東大と呼ばれる最難関大学チュラロンコン大学の医学部に合格

● チュラロンコン大学（バンコクの広大な土地にキャンパスを有しています）

保健大臣、外務大臣、首相府大臣
長期に渡りタイ政府の要職を歴任

自国を愛し、国民に愛され、
自国のために生涯を捧げ続けたDr.カセー

大学卒業後、医者となりタイの公衆衛生や地域医療に貢献
国家規模での医療改革を目的に保健大臣へ就任
その後、外務大臣となり近隣国や諸外国の要人たちと外交
突出した外交力と知識が評価され首相府大臣にも就任
貧困救済、地域医療の向上、貧困地域の衛生改善
国内産業や観光産業に伴う経済発展
タイの国際的成長に大きな影響をもたらした
その献身的な人生がタイ国民から絶大な支持を受け
自伝「Dr.カセーの半生」という著書まで出版された

（左）外務大臣就任直後のDr.カセー
（右）外交委員長として国際フォーラムに参加

● タイの首相とにこやかな対談

● 高官として正装するDr.カセー

● 外交力に優れ、
近隣諸国の要人から信頼が厚い

さまざまな国・地域・場所で献身的に活動した結果…

● 国際会議に自国を代表して参加

● 保健大臣として式典の主賓に

● タイ経済の発展にも貢献

● 業界紙でも特集される

マザー・テレサ、ダライ・ラマ14世と同じ
栄誉ある「マグサイサイ賞」受賞

黒澤明も受賞したアジアのノーベル賞

1973年、Dr.カセーは地域医療のマグサイサイ賞を受賞
マグサイサイ賞は毎年アジア地域で社会貢献などに
傑出した功績を果たした個人や団体に贈られ
アジアのノーベル賞と呼ばれる栄えある賞

● Dr.カセーは地域医療発展の功績が認められ
1973年に「社会指導部門」で受賞を果たした

● マグサイサイ賞公式サイト

● 1965年、あの黒澤明も受賞

日本国が外国人に贈る最高位の勲章
旭日大綬章 その他多数の賞を受賞

タイと日本の友好関係を築いた立役者

Dr.カセーはタイ国内で最高位の勲章を2つも受章
さらに、2004年
タイと日本の友好関係を推進したことが評価され
日本国から外国人に贈られる最高位の勲章
「旭日大綬章」を受章
彼を讃える功績、授与された褒章は数え切れない

● タイでも最高位の勲章を受章

● 教育関連の表彰も多数アリ

● 国外でも数々の褒章を受章

教育者としてのDr.カセー

複数の国立大学総長（理事長）を兼任

国立ナレースワン大学

国立ナラティワート大学

カレッジ・オブ・エイジアン・スカラー

カセー・パタナ中学校…etc

※タイ国内に複数の学校を創設し自ら理事を務める

● ナレースワン大学の公式サイト

Chair	Professor Dr. Krasae Chanawongse, M.D.
Deputy Chair	General Dr. Siri Thiwaphan
Honorable Committee Member	Professor Dr. Somchart Soponronnarit
Honorable Committee Member	Dr. Preecha Ruangjan
Honorable Committee Member	Emeritus Prof. Dr. Morakot Tanticharoen
Honorable Committee Member	Assoc. Prof. Dr. Varakorn Samakoses

● 創設者の欄にはDr.カセーの名前が記載されています

● カレッジ・オブ・エイジアン・スカラーの卒業式典

創設者紹介

一　創設者紹介

氏名　　：**Prof. Dr. Krasae Chanawongse**
カセー・チャナオン博士
生年月日：**1934年3月1日生**
出身：**コンケン県ポン郡ポン町**

カセー・チャナオン博士は、1973年にリーダーシップで「**マグサイサイ賞**」を受けたのをはじめ、タイから２つの最高位の勲章、2004年にタイと日本との良好な関係を推進した事で、日本国から外国人が受ける最高位の勲章である「**旭日大綬章**」を受章いたしました。
カセー博士の名は、カセー博士の多くの努力により国内外はもとより、地方の小さな村にいたるまで知れ渡っています。

2017.1.10

● タイの第27代首相チュワン・リークパイ氏

タイ国民に最も愛された首相へ Dr.カセーから卒業証書を授与

※タイでは首相引退後、大学に再入学する方が多いそうです

卒業式典の様子を動画でご覧ください

チュワン・リークパイ
Chuan Leekpai

タイ王国の首相・政治家
下院議員（人民代表院）
法務相、商務相、教育相
民主党党首を歴任。

▶ Dr.カセーとの関係性

チュワン氏の首相時代、Dr.カセーは外務大臣として仕えており、チュワン首相の懐刀として、共にタイの経済発展に貢献。政界から離れてもなお、行動を共にする程二人は仲睦まじい関係だといいます。

注目 ▶ Dr.カセーがチュワン元首相へ卒業証書を授与しております。

学びたくても学べない子供たちのために…

Dr.カセー・チャナオン財団

十分な教育を受けることの出来ない地域住民のために
自らの財団（カセー・チャナオン財団）を通じて
教育と地域サービスを提供

貧困地域の子供たちへの教育機関 カセー・パタナ中学校

この中学校は学びたくても学べない子供たちのために創設されました。
Dr.カセーに創設の理由を尋ねると、こんな答えが返ってきました。

**タイは 超・学歴至上主義国 です。いい大学をでなければ、
いい仕事につくことができません。それがこの国の現実です。
にも関わらず生まれた場所や環境によっては小学校にも行けず
多くの子供たちが未来への可能性を取り上げられています。
そのような子供たちに少しでも多く、学べる環境を用意したいのです。**

Krasae Pattana School

http://www.ksp.ac.th/home.php

カセーパタナ中学校

１９８０年設立

学生数　１２０名

学校名の由来は、

Krasaeは、創設者であるDr.Krasae Chanawonseの名前を取っています。

Pattanaはタイ語、英語ではDevelopmentで創設者の信念でもある「人材開発」を意味しています。

本校は私立中学校です。地域の恵まれない人々に教育の機会均等を目指しカセー博士が創設しました。

Dr.カセーが最初に創設した学校 テクノポン商業技術学校

こちらの学校は高校や短大にあたる教育機関です。
孤児院をでた子供たちや**経済的に進学することのできない子供たち**へ
学費免除や奨学金制度を活用しながら**社会で生きてくための知恵**を
与えているのだそうです。
職業訓練校のように専門分野に特化した教育を施すことができるので
1980年に創設されてから37年間、
何万人もの子供たちを社会へ送り出しています。

Phon Commercial and Technical College

http://www.technophon.ac.th/

テクノポン商業技術学校

１９８０年設立

高等学校　商業学科、電気学科、機械学科

学生数　１０００名

短期大学　商業学科、ビジネス学科

学生数　８００名

Founded in

1986

By: UNDP, UNOCHA & WMO

Asian Disaster Preparedness Cen

Charter members: BANGLADESH, CAMBODIA, CHINA, INDIA, NEPAL, PAKISTAN, PHILIPPINES, SRI LANKA, T

Bilateral Cooperation on Disaster Risk Reduction with Ministry of Foreign Affairs Royal Norwegian Government, World Bank, SAAR

Sri Lanka, DMB/CDMP Bangladesh, NCDM Cambodia, MRC, Oxfam, FAO, NCDM Ind

“ASEANの防災センター”

東南アジアの貧困問題や
災害復興を支援する慈善団体
ADPC（Asian Disaster Preparedness Center）設立

Dr.カセーは世界19ヶ国が加盟するADPCの創設者であり会長です

防災改善、地域医療サービス環境
自然災害回復プログラム、
緊急対応システムの構築など
東南アジア全域を守る活動に尽力

● ADPCの公式WEBサイト

● タイにあるADPC本部に各国の主要メンバーが集結

● Dr.カセーはADPCの会長

動画 ADPCの活動理念を伝えるメッセージ動画を配信中

御年83歳のDr.カセーが選んだ
人生最後のプロジェクトは
東南アジアの貧困問題解決でした

[注目] 首相・政府・財閥・財団・近隣諸国の要人たち

Dr.カセーがこれまで築き上げたすべての人脈を総動員させ

“仮想通貨事業による東南アジアの貧困救済活動”を始めます

仮想通貨バブルの時流に乗り
東南アジアの貧困問題を解消しながら
仮想通貨長者を生み出す ASECコイン

ASECプロジェクトの一番の目的は
東南アジアの貧困救済 です

▼

ASECプロジェクトの発起人：Dr.カセー

Dr.カセーは、**御年83歳。**

生涯の半分以上を国や地元に捧げ、国会議員の責務を全うしてきました。

長い年月をかけて少しずつ少しずつ自国の経済を発展させながら
医療を受けられない人たちのために、貧困地域での医療サービスを展開し
教育を受けられない人たちのために、私財を投げ打って学校を作ってきた人間です。

そんなDr.カセーが今も尚、切望しているのは **東南アジアの貧困解決** だと言います。

Dr.カセーは人生最後の仕事として貧困問題の解決に尽力したいと考えているのです。

東南アジアの貧困地域における収入格差、貧富の差は終わりの見えない問題だと言われますが
Dr.カセーは仮想通貨に貧困問題を解決の糸口を見出しています。

実際、仮想通貨と仮想通貨を支える技術は **貧困問題を解決できる特性** を秘めています。

そこで、Dr.カセーは慈善活動とビジネスを組み合わせたASECプロジェクトを立ち上げました。

■ 慈善活動とビジネスの奇跡的なコラボーレーション

Dr.カセーは言いました。

仮想通貨によって、貧困を解決できる可能性があるのであれば
人生最後の仕事として命果てるまで全うするつもりだ、と。

Dr.カセーはこれまで培ってきたものすべてを呈して、プロジェクトを成功させたいと言います。

だからこそ広告塔としてではなく**「ASEC FRONTIERの最高顧問」**に就任し、
自らが事業の責任者となって、共に活動することを約束しASECプロジェクトの発足にまで至りました。

その中で開発されたのが、ASECコインです。

つまりASECコインは**「 東南アジア貧困問題解決の目的の上に成り立つ仮想通貨 」**なのです。

Dr.カセーは人生の最後の仕事として、慈善の気持ちでこのプロジェクトへ取り組んでくれます。

慈善活動とビジネスの奇跡的なコラボレーション。

それがASECコインなのです。

ASECプロジェクト

ASECコインには特定の使用目的、公的な人物や組織、価値を高める戦略が揃っています。

目的	特定の使用目的が明確か？ 当該通貨でなければならない理由は？	**東南アジアの貧困救済** **貧困地域の教育格差を解消するため** **事業資金の一部を寄付し、** **貧困地域に奨学金制度の施行を目指す**
組織	公的な組織や人物が関与しているか？ またそれらを証明するものはあるか？	**ASEC FRONTIER GROUP（運営元）** **CEO：Prof.Dr.Thapana Boonlar** **最高顧問：Prof.Dr.Krasae Chanawongse** **※当事業の動画・講演・メッセージあり**
戦略	価値を高める戦略はあるか？ またその戦略は真っ当なものか？	**ASEC関連事業の決済通貨に使用** **ASEC FRONTIERが運営する事業の** **決済通貨に使用することで流通量が激増**

次項より、事業目的「東南アジアの貧困救済」について説明していきます。

貧困救済

ASEC COINが東南アジアの貧困問題を解決できる理由

貧困救済活動としての具体的な取り組み

事業収益の一部を寄付し
奨学金制度を施行

お金がなくても学べる環境を整え
子どもたちの教育格差を埋めます

（ 具体的な取り組みについて、タイの現状を踏まえてご説明致します ）

はじめに、こちらの写真をご覧ください

タイの首都、バンコクの夜景です

次に、こちらの写真をご覧ください

同じくバンコクですが、こちらは中心街の路地裏の風景です

東南アジアの社会問題：極端すぎる経済格差

２枚の写真を見比べてみれば、ひとつの町の**「 表と裏 」**を感じると思います。
一見、華やかに思える観光地も一本路地裏に抜ければスラムが広がっています。
この極端な格差こそが、タイの現状です。

そして、このような経済格差はタイだけではなく、フィリピン・ミャンマー・ラオス・ベトナムなど、
東南アジア全域で見受けられる社会問題 なのです。

貧困問題の根本的な原因をご存知ですか？

教育 × 医療

教育と医療の環境が不十分であればあるほど
貧困連鎖は広がる と言われています。

中でも、もっとも深刻なのは **教育問題** です。

親と暮らすことのできない子どもが300万人以上

タイでは300万人以上の子どもたちが親と暮らすことができない状態にあります。
※この数字はタイの子ども全体の約21％に値します。

東南アジアには、出稼ぎ労働者が多いため、比較的そのような子どもたちが多いのですが…
タイは東南アジアの中でもダントツで恵まれない子どもたちが多い国です。（MICS調査を参照）

両親と暮らすことのできない子どもの割合（国別）	
タイ	21％
ラオス	5％
ベトナム	4.4％
コスタリカ	3.4％
ナイジェリア	6.5％

タイには両親がおらず孤児院育ちの子どもが多い

両親と暮らしていない子どもに顕著な発育の遅れ

ある調査によると、両親と暮らしていない子どもの約25%に、
発育の遅れがみられるといいます。特に問題視されているのが言語面です。

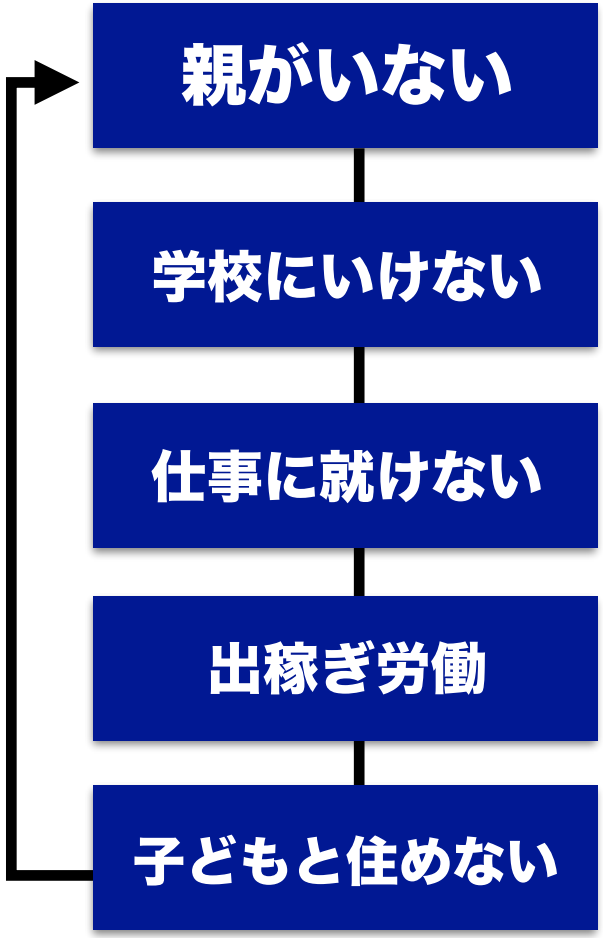
タイでは今、文字が読めない、言葉が話せない、
そんな子どもたちが急激に増えています。

そもそも両親のいない子どもたちは経済的な問題により、
学校に通うことすらできません。

「いい学校に入らなければ、いい職に就けない」

学歴社会のタイでは、それが絶対的なルールであるにも関わらず
学べる子と学べない子の教育格差が一向に埋まることなく、
その教育現状がそのまま社会に反映されているのです。

Dr.カセーはそのような現状を憂い、
すべての子どもたちが等しく学べる環境の実現を目指しています。



貧困スパイラルを断ち切る具体策

“奨学金制度の施行”

貧困問題を解消する上で、政治混乱、経済事情、所得問題、養育環境など、
解決しなければならない問題はさまざまですが、
その中でも「教育格差を埋めることが最優先」だとDr.カセーは考えています。

そこで、具体的な取り組みとして予定しているのは「奨学金制度」の施行です。

学歴社会のタイで、安定職に就くためには、学歴と教養が必要です。

両親がいなくて、お金がなくて、学校に行けない子どもたちに
進学という選択肢を与えるための教育制度を整えたい。

それがDr.カセーの願いであり、
Dr.カセー・チャナオン財団を通じて行うASECプロジェクトの貧困救済活動となります。

ASEC FRONTIERの事業収益を奨学金制度施行の寄付金に充てます

実際に奨学金を施行するためには、多額の資金が必要です。
そこで、ASECプロジェクトの事業収益を活用することが決まりました。

ASEC FRONTIERの最高顧問に就任し、プロジェクトの代表者となり
ASECコインの普及を支援していただく代わりに、
ASECプロジェクトにより事業収益の一部をDr.カセーの財団へ寄付します。

Dr.カセーはその寄付金を奨学金制度施行に充てるという段取りです。

利害の一致

ASEC FRONTIERは、Dr.カセーが代表者となることで
事業の信頼性が増し、彼の人脈を最大限に活用することができる

Dr.カセーは、プロジェクトの推進に協力すればするだけ
自身の夢でもある教育格差の解消（奨学金制度の実現）に近づく

そして、Dr.カセーはASEC関連事業で
莫大な収益を生み出すため、
ASEC FRONTIERのCEOに

最高のビジネスパートナー

を招き入れました。

※ASEC FRONTIERのCEOを次項にてご紹介しております。

運営組織

ASECプロジェクトを牽引する運営組織とDr.タパナ

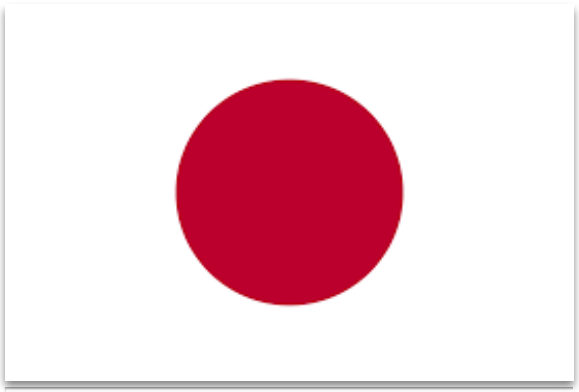
ASEC FRONTIER Co.,Ltd.

プロジェクトの運営元・コインの発行元は
すべてASEC FRONTIER Co.,Ltd.となり
タイ、バヌアツ、日本の３ヶ国に設立。

Asec Frontier

※１ タイランド・バヌアツは既に設立済み（ASEC FRONTIER JAPANは設立予定）

※２ 会社設立証明書、登記簿謄本、金融ライセンス等の証明書をP.97～98に掲載しております。



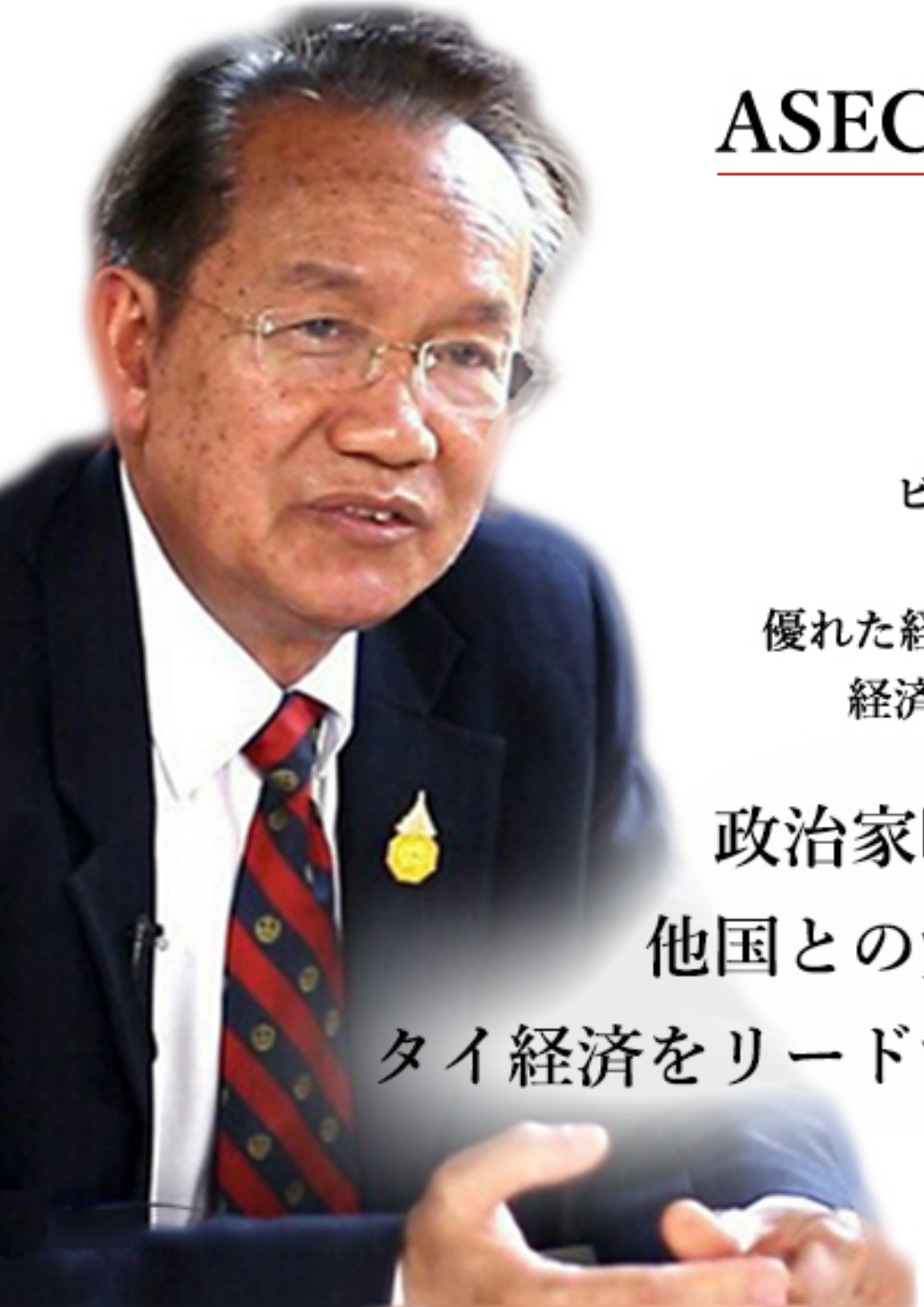
運営会社のCEOにタイの名だたる実業家が就任

タイ国内のビジネス、政治、教育、メディア
多分野で華々しい実績と功績を残す
Thapana Boonnlar（タパナ・ブンラー）氏が

ASEC FRONTIERの CEOに就任しました。

次ページより、タパナ氏の実績や経歴をご紹介します。

▼



ASEC FRONTIER CEO

Dr.タパナ

ビジネス、政治、教育分野に精通する著名な実業家
三菱商事などを相手に各国との貿易業を牽引
優れた経営者を讃えるWHO'S WHO IN THAILANDに選出
経済学者でもあり、さまざまな大学理事・教授も兼任

政治家時代にカセーの右腕として活躍し
他国との貿易、国内の開発事業を請け負い
タイ経済をリードする強力なビジネスパートナーが

ASEC関連事業を全任

信じ難いほどの圧倒的な経歴と実績

・BBRC Group Co., Ltd.会長
・GG Group Co., Ltd.会長
・Ozone Smart Co., Ltd.会長
・ASIAN INSTITUTE OF LOGISTICS会長
・Advisor Sub-Committee on regions, art and culture, and tourism group. National Legislative Assembly.
宗教と芸術文化と観光副閣僚理事会のアドバイサー。国立立法議会
・ナコーンシータマラート・ラジャーパット大学理事会の有資格委員（Nakhon Si Thammarat Rajabhat University）
・チャンガセーム大学事業推進委員会の有資格委員（Chandrakasem Rajabhat University）
・チャンガセーム大学研究推進室の有資格委員（Chandrakasem Rajabhat University）
・The Interdisciplinary Network of the Royal Institute of Thailandの有資格委員
・プラナコーンラジャ大学理事会の有資格者（Phranakhon Rajabhat University）
・教育閣僚理事会の会長アドバイサー
・財政金融機関閣僚理事会の会長アドバイサー
・理工とエネルギー閣僚理事会の会長アドバイサー。下院議員
・宗教と芸術文化閣僚理事会の会長アドバイサー。下院議員
・農業、エネルギー、天然資源、自然環境、運輸ロジスティックス副閣僚理事会の副会長。国会議長
・理工、通信技術と遠距離通信閣僚理事会の名誉アドバイサー。上院議会
・情報科学技術副閣僚理事会アドバイサー。上院議会
・ロジスティックス副閣僚理事会アドバイサー。上院議会
・クリスティーン大学経営学修士議長（Christian University of Thailand）
・Rajamangala University of Technology Tawan-okの学長当選。
・Siam College of Technology特殊事業部の副学長

・CEO of Thai Diamond Land Co., Ltd.
・Logistics Consultant Co., Ltd.会長
・The Chartered Institute of Logistics & Transport, Thailand.取締役
・ノンタブリー県裁判所の斡旋者
・The Association of Thai Software Industry.アドバイサー
・IN SQUARE shopping mallアドバイサー （チャトチャック）
・泰日工業大学共同創設者
・グレーグ大学ロジスティックス供給連鎖管理科経営学修士事務長（Krirk University）
・Thai Summit Autoparts Industry Co.,LTD副会長アシスタント
・Mahajak Autoparts Co.,LTDの管理課長、市場開発課長、営業課長、倉庫運輸課長
・スリン県、ブリーラム県のSaijaithai Foundation under the Royal Patronageの委員アドバイサー
・ロータリークラブ（シーナカリンーバンコク）の共同創設者と委員
・Thai Logistics and Production Society元取締役
・Purchasing and Supply Chain Management Association of Thailand元名誉アドバイサー
・The stability of Buddhism in Thailand Association元書記
・タイ仏教推進センター（Center for Promotion of Buddhism Thailand）の委員
・Professor Intercultural Open University, Netherlands. （ロジスティックスマネジメント学部）
・Doctor Pacific Western University, U.S.A.（リーダーシップマネジメント学部）
・Doctor Magadh University, India. （社会科学部）
・Master National Institute of Development Administration (NIDA), Thailand. （行政学部）
・Bachelor Krirk University, Thailand. （経営経理学部）
・The CILT Certificate in Logistics and transport, The Chartered Institute of Logistics & Transport, U.K.
・Asean Productivity Organization (APO)の農業のサプライ・チェーン・マネジメント
・Thailand Productivity Instituteの品質賞監査役
・APEC-IBIZ, Thailand Productivity Instituteのビジネスアドバイサー
・ISO 9000, IRCA, U.S.A. の監査役

※掲載しきれないため、その他省略

“超・巨大都市開発計画”の元責任者

近年、観光産業として栄えているタイでは、国内の都市開発事業が盛んとなっており、
タパナ氏は政府主導・民間主導のあらゆる開発事業に携わっております。

中でも大規模な都市開発**「タイ・ダイヤモンド・シティ」**の事業責任者に就任した経験もあり、
空港、ショピングセンター、高級住宅街、貿易センター、教育研究施設、ゴルフ場、スタジアムなど
近代的な大都市を構築に貢献しておりました。

その計画に付随して、**不動産、鉱山採掘、建築などの関連事業においても多大な功績**を残しています。

● ダイヤモンドシティ計画の公式動画のワンシーン（公式動画はYOUTUBEにも公開されています）

Thai Diamond City
開発場所

ダイヤモンド・シティの開発場所は、
ケーンクラチャン国立公園の麓です。

開発面積は「35,000Rai」

これは日本で言うところの
56,000,000㎡となります。
（東京ドーム1,000個分）

タパナ氏が事業責任者として推進していた
ダイヤモンド・シティはこちらで確認できます。

タパナ氏はダイヤモンド・シティ級の大規模な都市開発事業をいくつも請け負っています。

ダイヤモンド・シティ級の事業責任者となれば、並大抵の人間には務まりません。

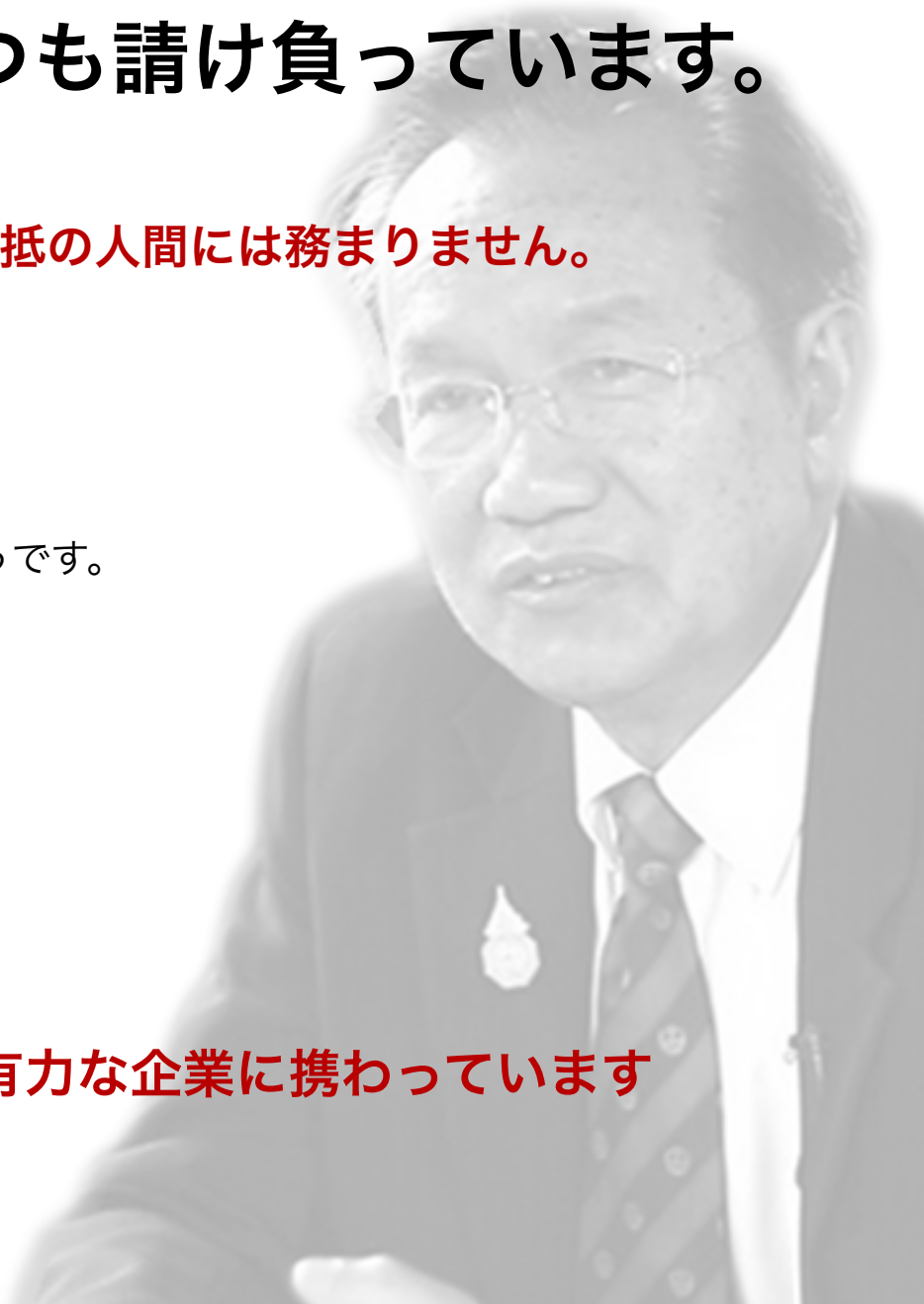
しかし、知略、手腕、実績、人望、実業家としての気概、
タパナ氏はそのすべてを持ち合わせているため、
ダイヤモンド・シティだけではなく、
現在も同等の都市開発事業を複数、同時進行で手掛けているそうです。

その他にも石油・貿易・鉱山・採掘事業など、
今もなお様々な事業へ精力的に取り組み、
タイの政財界をリードする、名実ともに優れた実業家。

それがASEC FRONTIERのCEO、タパナ・ブンラー氏なのです。

現在、タパナ氏は都市開発以外にもタイの有力な企業に携わっています

▼



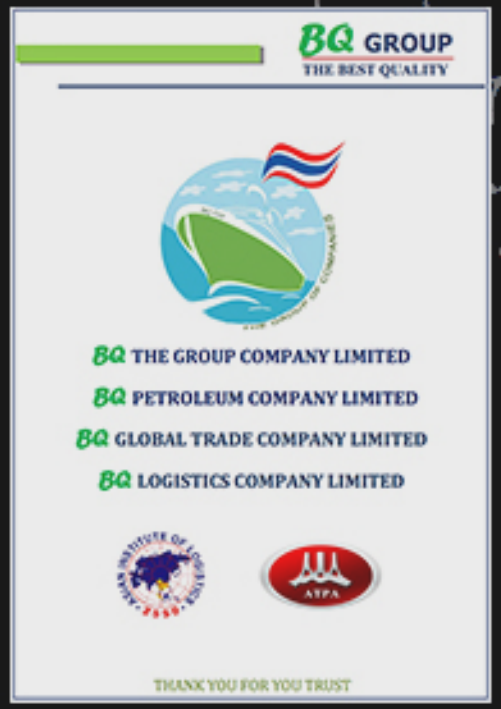
タイの要人たちが顔を揃える大手企業
その執行役員も務めております

BQ GROUP
THE BEST QUALITY

THE BQ GROUP Co.,Ltd
タイ国内の石油事業を牽引する代表企業

BQ GROUPとは、タイの中核企業で役員にはタイの要人がその名を連ねております。国内の石油取引が主な事業で、大型の石油備蓄施設を所有し。安定価格で石油を供給し、タイ王国海軍にも設備をリースするほど、信頼性の高い優良企業です。

▼ 取引先企業



BQ GROUP

- BQ THE GROUP Co.,Ltd.
- BQ PETROLEUM Co.,Ltd.
- BQ GLOBAL TRADE Co.,Ltd.
- BQ LOGISTICS Co.,Ltd.

４つの有力企業を抱える
タイの中核企業

● タイの要人たちの中にその名を連ねているタパナ氏

あの三菱商事の貿易コンサルティングを担当し以来20年間売上ナンバーワンに導いた立役者

遡ること約20年、実業家として類まれな功績を残し始めていたタパナ氏は、
その手腕を買われ、三菱商事の貿易コンサルティングを担当しました。

三菱商事

コンサルティングを担当した商品は三菱のエアコンだったそうですが、
当時、海外では高価格な日本の家電がなかなか受け入れられず売れ行きは不調。

その成績をV字回復させ、以来20年間売上ナンバーワンとなった立役者がタパナ氏だといいます。
タパナ氏はそれから現在に至るまで三菱商事と日本タイ間の貿易を担当しております。

国内外の貿易、不動産、採掘、開発事業を兼任アジア全域に強烈なコネクションを持つ

タパナ氏は、Dr.カセーに負けず劣らずの人脈を持っています。
ビジネス的にはDr.カセーよりも強烈なコネクションを持っています。

国内外のさまざまな企業の会長職・取締役を兼任し、
国家主導の開発事業（公共事業や都市開発計画）、
資源大国と呼ばれる東南アジア全域での採掘事業も請け負っています。

● バングラディッシュ間との貿易事業

● 中国間との貿易産業にも貢献

東南アジア各国にさまざまな人脈

● 東南アジアの要人たちとの首脑会議

● アジア資源開発会議の議長を担当

優れた功績を残した経営者を表彰する
WHO’S WHO IN THAILANDに選出
タイでは“ＴＶ出演常連”の大物実業家

タパナ氏は「WHO’S WHO IN THAILAND」に
選出されるほど有名な経営者であり、
これまでにさまざまメディアに取り上げられています。

また経済学者としての顔も持ち合わせており、
タイ国内のＴＶ番組にもよくゲスト出演されています。

教育、財政、経済、ビジネス、教育、研究など
多分野で活躍されているタパナ氏の発言は
国内、近隣諸国に大きな影響を与えます。

TV出演

経済学者としてTV番組にも出演

経済学者、プロフェッサーとしても活躍
教育者として動画コンテンツも配信中

พ็อกเก็ตคลิป ธเนตร วงษา

จากพนักงานกินเงินเดือน เข้าสู่ความสำเร็จระดับ Global รายได้สะสม 9 หลักใน 4 ปีกว่ากับธุรกิจเครือข่าย หากคุณขยันแต่ผิดที่ 10 ปีก็ไม่รวย มาเรียนสัดวันนี้รู้เรื่องเลย

890 บาท

พ็อกเก็ตคลิป เฮียหมัก กฤษณะ

กว่า 15 ปี วงการอสังหาฯ เจ้าของสิ่งปลูกสร้างให้เช่า กว่า 500 ยูนิต ถ่ายทอดแบบไม่มีทักในคลิป คุณไม่ต้องไปนั่งอ่านตำรา ชมคลิปจบคิดออกต่อยอดทันที

890 บาท

พ็อกเก็ตคลิป ดีเจเคนโด้

ดีเจนักจัดรายการวิทยุชื่อดัง มีผู้ฟังเกิน 1 ล้านคนต่อเดือน จัดรายการวิทยุมาทุกรูปแบบ จะสอนงานเป็นดีเจและนักพูด เพื่อเสกให้คุณพูดแล้วดึงดูดทำเงินล้าน รีบเลย

1,200 บาท

พ็อกเก็ตคลิป ปั่น ไพบูลย์เกียรติ

ธรรมชาติของผู้ชายอารมณ์ดี เรื่องง่ายๆ เรื่องเบาๆ หยิบมาเล่าสู่กันฟัง ในฐานนะเพื่อน พี่น้อง ที่รู้จักกันมายาวนานเกิน 20 ปี

2,500 บาท

พ็อกเก็ตคลิป เชฟเคณท์ (Master Chef)

สุดยอดเชฟสุดฮิป! มาปรุงอาหารรสเลิศที่ผรึ่งต้องบินมาขอฟิสูจน์ เอาสูตรไปเปิดร้านอาหารไทย ทำอาหารให้อร่อยต้องดูเมนูเด็ดที่ทำตามแล้วอร่อย

1,200 บาท

พ็อกเก็ตคลิป ศ. ดร. ฐาปนา บุญหล้า

ความรู้แห่งการขับเคลื่อนเศรษฐกิจด้วยโลจิสติกส์ จะนำมาซึ่งโอกาสในทุกด้าน รู้ก่อน! ลงมือทำก่อน ข้อมูลเบื้องลึก นำมาเปิดเผยให้ประชาชน เป็นผู้ค้าที่มั่งคั่ง

890 บาท

近日公開予定の
動画コンテンツ
(その他にも多数出演)

Facebookも公開中

「 Thapana Boonlar 」

で検索すると閲覧可能

※Facebookに掲載されていた
タパナ氏の若かりし頃の写真

Dr.カセーの右腕でもあり盟友的存在

政治家、実業家、経済学者、教授など多分野で華々しい功績を残すタパナ氏は、
Dr.カセーと師弟関係にあり、共にあらゆるプロジェクトを牽引してきた盟友でもあります。
今回、ASECプロジェクトへのDr.カセーからの誘いにも、
「 わたしがあなたのお願いを断るわけがありません 」と即答していただいたそうです。
※タパナ氏には、ASECプロジェクトで運営する複数の事業を全任していただきます。

ASECプロジェクトはタパナ氏を中心にあらゆる事業展開を予定しております。

ASECプロジェクトでは、タパナ氏という強烈な経歴・実績・人脈の持ち主を中心に
あらゆる事業を展開する方向で準備を進めております。
そして、それらの事業でASECコインを活用しコインの価値を高めていく準備も同時に進めています。

これだけの実績と経歴を持つ有能なタパナ氏が、ASECプロジェクトの事業戦略を企てたら、果たしてどれだけの事業収益が見込めるでしょうか？

事業戦略

貧困問題を解決し、ASECコインの価値を高める戦略

ASECプロジェクトの事業戦略

類まれな実績と経歴を築き上げ
国内外に強烈な人脈を持ち合わせる
タパナ氏を中心に様々な事業展開を予定

（都市開発、不動産、貿易、鉱山、採掘事業などを予定）

そして、それらの事業でASECコインを活用し
コインの価値を高めていく準備も進めています。

次ページにて、ASECコインの価値高騰が期待できる理由を解説
▼

ASECプロジェクトとしてタパナ氏を中心に予定の事業

都市開発

不動産

貿易

採掘

※これらの事業でASECコインを活用できるようブロックチェーンを構築中

ASECコイン

各種事業の決済通貨として使用

（事業経費の劇的削減・契約等の簡略化）

事業収益向上 流通量増加

ASECコインの流通量増加に伴い
コインの価値も高騰する見込み

重要 なぜ、ASECの流通量増加に伴い ASECコインの価値が高まるのか？

コインの価値が高まる理屈は「流通量の増加」と「発行枚数」が深く関係しています。
まずは、流通量の増加について、わかりやすく都市開発事業の例を挙げながらご説明いたします。

- **超・巨大都市開発計画となれば、 土地の開拓、資材の搬入、機材設備、人材確保、建築工費など、国をまたいで、さまざまな物流・経費が発生します。（数十兆〜数百兆規模）**

↓

- **ASECコインを使用すれば、送金スピードが早く、送金手数料も為替手数料も発生しません。従って、物流コストや事業経費を劇的に削減し、事業収益を向上できます。**

↓

- **利便性に優れ、事業収益が向上するのであれば、全面的に活用！（ASECコインの流通量増加）**

このように事業で使用することのメリットは大きく、タパナ氏のような有能な実業家が中心となって、
あらゆる事業を立ち上げていけば、自ずとASECコインの流通量は増加していきます。

では、流通量が増加することで、なぜコインの価値が高騰するのか、その理屈をご説明します。

■価値が高騰する要因は「発行枚数の制限」にアリ

実は仮想通貨には、発行枚数と毎月発行される流通量があらかじめ設定されており、
設定通りにしかコインが発行できないしくみ となっております。

例えば、ビットコインは総発行枚数が2,100万枚。
そこから毎月一定量単位のコインが発行されていくプログラムで
実際に2,100万枚目が発行されるのは、2140年だと言われています。

一気に流通するのではなく、少しずつ小出しにコインが流通するわけです。

わざわざ、このようなしくみを採用する理由は、
日銀の金融緩和みたく、お金を刷りまくって価値を調整する所業を防ぐためです。

「誰かが都合のいい時に、都合のいい分だけ、意図的に増やしたり減らしたりできない」

そのような安全で、公平なしくみを維持するため、発行枚数に制限をかけているのです。
同様に、ASECコインのブロックチェーンにもそのような設定が施されています。

そして、**これこそが市場原理的に価値を高騰させる要因**となるのです。

■ 都市開発事業がASECコインの価値を高騰させる市場原理

ASECコインでは、通貨発行の役目をブロックチェーンが担っています。

コインの総発行枚数は、30億枚。

毎月の発行枚数をわかりやすく１ヶ月に100〜300枚の発行されるとします。
※毎月の発行枚数は現在調整中です

2017年１月は100枚、２月は200枚、３月は300枚…

そのようなペースで発行された場合、この時点で、ASECコインの総発行枚数は600枚となります。

仮にこのASECコインの１枚あたりの価格が円相場で100円だったとするならば、
600枚×100円＝６万円分（時価総額）のASECコインが流通している計算になります。

この前提をもとに、話を都市開発事業へ戻します。

都市開発事業に伴う物流コスト、人材、資材、設備工事などの事業経費を
既存の通貨ではなく、ASECコインで代用するとします。

仮に、資材を搬入する費用が600万円だった場合。

ASECコインの時価総額が６万円では、600万円の支払いはできません。

かといって、600枚以上に発行枚数を増やす手段もありません。

となると…

１枚あたりの価格を高くするしかありません。

600万円の支払いを賄うために１枚あたりの価格を100円から１万円に高めようという
市場原理が働きだすのです。

これが、**現在の仮想通貨市場で仮想通貨長者を生み出す原理** です。

もし仮にこの時。

あなたが１枚10円の時にASECコインを100万円分（10万枚）購入していたとしたら…？

あなたが保有するASECコインの価値は、10億円に高騰していることもあり得るのです。

100万円が、10億円。

100万円が本当に10億円へ化けてしまうのです。

まさにバブル！仮想通貨ドリーム！

アンビリーバブルな現実があなたのもとに訪れます。

そんな一攫千金の可能性が、ASECコインには秘められているのです。

その可能性をタパナ氏が主導するASEC関連の事業がより濃厚に仕立て上げ
「莫大な収益事業」「コインの価値高騰」と**「仮想通貨長者誕生」**を実現できるという算段です。

ASECコインでは、こうしたビッグバンを狙っています。

仮想通貨バブル、ASECコイン、Dr.カセー、東南アジアの貧困問題、タパナ氏の都市開発計画…
ASECプロジェクトでは、それらの要素を上手にかみ合わせ、急激な成長を実現し、
爆発的な衝撃を起こすまでの一部始終が想定されているのです。

あなたもこの流れに乗れば、**数年後には仮想通貨長者**になっているかもしれませんよ？

ASEC PROJECT（事業の全体像）

“解決したい”という
Dr.カセーの想い

貧困問題

問題点

解消

教育格差

具体策

支援

奨学金制度

ASEC FRONTIER（運営元）

最高顧問

CEO

盟友

Dr.カセー・
チャナオン財団

ASEC関連事業

利益の一部を寄付

ASEC COIN

ASECコインを事業間の決済通貨として
使用する（物流コスト削減・流通増）

ASECコイン販売事業

開発事業

不動産事業

鉱山事業

採掘事業

ASECCOIN PROJECT

コインの価値が高騰する市場原理

▶ タイの都市開発事業や不動産、鉱山採掘事業などに全面使用が予定されている

- Dr.カセーの呼びかけでタパナ氏がASEC FRONTIERのCEOへ就任
- タパナ氏は超・巨大都市開発事業の責任者を任されるほどの実業家
- そんなビジネス界の重鎮がASEC関連事業を全任
- 事業収益の増加が期待され、貧困地域への寄付金も増していく
- Dr.カセーもタパナ氏も貧困地域の子どももみんなハッピー

事業収益・寄付金増
ASECコインの
流通量激増

▶ 流通量の増加がASECコインの価値を高騰させる市場原理

- ASECコインには発行枚数に制限がある
- コインの価値は必要な金額に対して、その都度、最適化されていく
- ASECの関連事業では数十兆～数百兆の市場規模が予想されている
- 巨額の費用を賄うためには１枚あたりの価格を高くするしかない
- コインの価値は10倍どころか１万倍、10万倍に高騰が予測できる
- ASECコインの保有者は仮想通貨長者になれる可能性が高まる

ASECコインの
価値高騰
仮想通貨長者の期待大

ASECコインの購入を希望する皆様へ

購入目的、販売価格、購入方法、管理方法

販売価格

ASECコインの価格は毎月高騰が期待できます

プレセールは 1 ASEC＝10セントからスタート

市場公開迄に 1 ASEC＝ 1 ドルへ段階的に上昇予定

（ 現時点で購入しておくのが、一番お得です ）

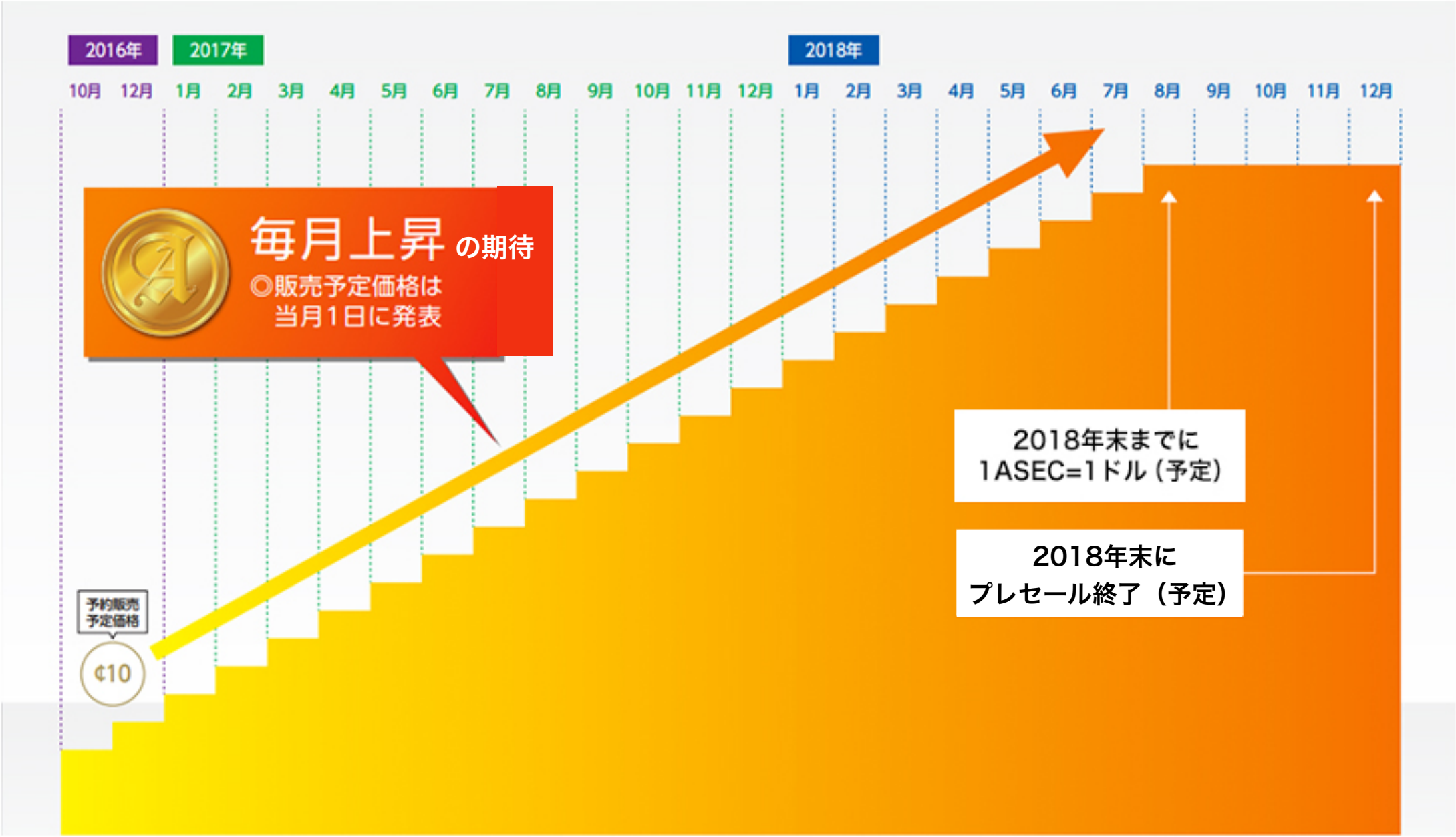
ASECコインの販売価格は、毎月更新されます。

初値1ASEC＝10セントからスタートし、毎月1日に更新されます。
値上がり幅は販売量に応じてさまざまですが、今後もこの価格は毎月更新される見込みであり、
2018年12月までに1ASEC＝1ドルにまで高まる予定となっています。（2018年末プレセール終了予定）
そのため購入を希望される場合は、現時点で購入するのが一番お得となります。
先行者利益を得るためにもお早目の購入をご検討ください。

※ASECコインの価格は変動制であり、毎月1日に販売価格が更新されております。

プレセールのスケジュール - ASECコインの販売価格 -

2018年末のプレセール終了までに、１ASEC＝１ドルまで上昇予定となっております。



購入方法　ASECコインご購入の３ステップ

STEP 1　購入のお申込み

STEP 2　購入資金のお振込

STEP 3　購入したコインの確認

それぞれ詳しくご説明させていただきます

STEP 1　まずは専用フォームよりお申込みください

必要事項と購入予定金額をご入力ください

■ お申込み時に入力する必要事項

- お名前（必ず本名をご入力ください）
- メールアドレス
- 電話番号
- 住所
- 購入予定金額（1口10万円～）
- 入金予定日

■ 同意事項

フォーム内にご購入にあたっての同意事項が記載されていますので、内容をご確認の上、チェックマークを入力して送信してください。

STEP２　次にご希望の購入資金をお振込みください

お申込み後、振込先の口座情報をご案内

振込先の口座情報はお申込み後に表示されるページもしくはご入力いただいたメールアドレスへ送信させていただきますので、必ずそちらをご覧いただくようお願い致します。

■ 1口10万円からのご購入となります

ASECコインの購入は「口数単位」で計算されますので、予めご了承ください。

■ 購入できるコインの枚数

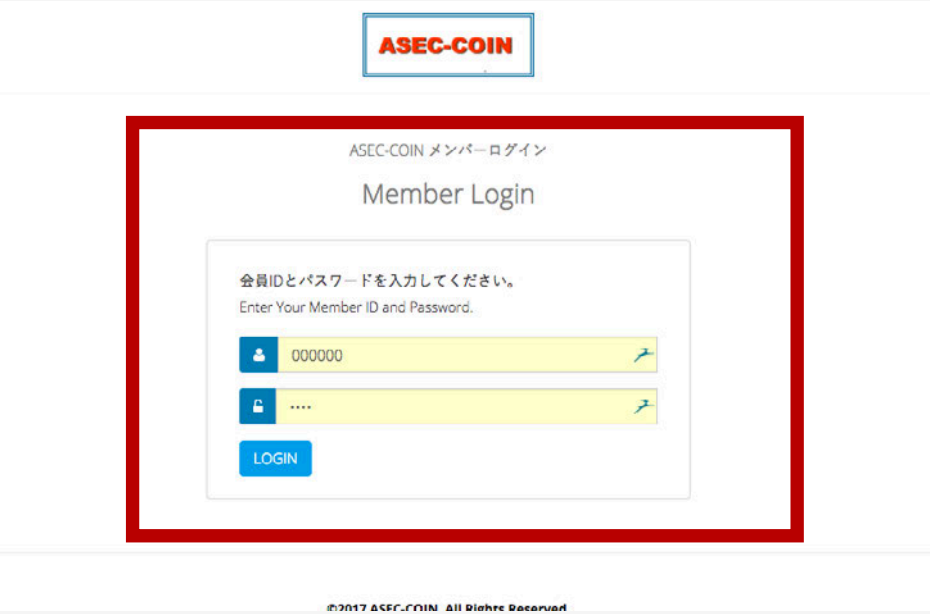
口数あたりの購入枚数は購入時の販売価格と、為替レート（直近3ヶ月の平均終値のドル円レート）で換算されますことを、予めご了承ください。

例）1ASEC＝33セント、1ドル110円の場合
1口10万円で「2,754.82ASEC」を保有できます

STEP３　最後に購入したコインをご確認ください

入金後１営業日以内に反映。購入したコインはメンバーサイトの購入履歴で確認可能

ASECコインの購入お申込み後に、ASECメンバーサイトの個別アカウントが発行されます。
メンバーサイトにはASEC関連のトピックスに加え、購入したコインの枚数を確認できます。
尚、メンバーサイト内に表示される内容や、メンバーサイトの閲覧方法についても、
お申込み後にマニュアルを送信致しますので、そちらをご参照ください。
※現在、ブロックチェーンと専用のウォレットアプリを生成中。（完成後はそちらで確認可能となります）



ご不明な点があれば

お気軽にご相談ください！

[疑問や不安を即座に解決いたします]

- お申込み手続きが出来ているかどうか不安
- 入金方法がわからない
- 入金を済ませたが反映できているか知りたい
- メンバーサイトの見方がわからない
- ASECコインの販売価格がわからない
- 購入後の流れがわからない
- どのぐらいの利益が出ているのか知りたい
- 追加購入の方法を教えて欲しい
- ASECコインの事業の進捗を把握したい

ASEC FRONTIER GROUP PRESENTS

“ASEC COIN”

東南アジアの貧困救済活動へのご支援と
仮想通貨長者への期待を込めてご購入ください

[以下のボタンをクリックしてお申込み手続きへとお進みください]

ASECコインの購入を希望する

>> ご購入に関するお問合わせはこちら <<

>> 公式WEBサイトはこちら <<

よくある質問

ASECプロジェクトは仮想通貨詐欺ではないのか？

仮想通貨関連の投資案件なんて大抵、詐欺なんでしょ？

ASECプロジェクトは公的な組織が運営する仮想通貨事業です。
また、代表者・責任者は国際的な活動を行っている公人です。
公序良俗に反するような行為は働かぬことを、お約束致します。
※ご希望であれば、運営元・主要人物・事業の実態を全面的に公開することも可能です。

ASECプロジェクトは「目的・組織・戦略」が明確で、透明性も高く、事業に関わるすべての人たちと、等しく利益を共有し合うしくみを構築しております。

35000 Rai
次のようベップリーは完全に8つの主要なゾーンに編成されています

EMULATE
KRASAE
ตามกระแส
Dr. Krasae Chanawongse

ASECプロジェクト

ASECコインには特定の使用目的、公的な人物や組織、価値を高める戦略が揃っています。

目的	特定の使用目的が明確か？ 当該通貨でなければならない理由は？	**東南アジアの貧困救済** **貧困地域の教育格差を解消するため** **事業資金の一部を寄付し、** **貧困地域に奨学金制度の施行を目指す**
組織	公的な組織や人物が関与しているか？ またそれらを証明するものはあるか？	**ASEC FRONTIER GROUP（運営元）** **CEO：Prof.Dr.Thapana Boonlar** **最高顧問：Prof.Dr.Krasae Chanawongse** **※当事業の動画・講演・メッセージあり**
戦略	価値を高める戦略はあるか？ またその戦略は真っ当なものか？	**ASEC関連事業の決済通貨に使用** **ASEC FRONTIERが運営する事業の** **決済通貨に使用することで流通量が激増**

ASECプロジェクトの実態を証明できるものはありますか？

運営元の組織であり、ASECコインの開発元でもあるASEC FRONTIERの登記簿謄本を掲載いたします。

※付随して「金融ライセンスの証明書」も掲載いたします。

次ページに、ASEC FRONTIERの謄本・金融ライセンスを貼付しております。

▶ ASEC FRONTIER THAILAND Co.,Ltd.

29 BBC@ Ekamai (Bangkok Business Center),4 Floor Studio
7 Sukhumvit 63 Rd,Klongton-Nua,Wattana,Bangkok 10110

オフィスはBTSエカマイ駅から徒歩５分
BBC(バンコクビジネスセンター)に設立済み

ที่ สจ.4 032487

สำนักงานทะเบียนหุ้นส่วนบริษัทกรุงเทพมหานคร
กรมพัฒนาธุรกิจการค้า กระทรวงพาณิชย์

หนังสือรับรอง

ขอรับรองว่าบริษัทนี้ ได้จดทะเบียนเป็นนิติบุคคล ตามประมวลกฎหมายแพ่งและพาณิชย์
เมื่อวันที่ 27 มีนาคม 2560 ทะเบียนนิติบุคคลเลขที่ 0105560049581
ปรากฏข้อความในรายการตามเอกสารทะเบียนนิติบุคคล ณ วันออกหนังสือนี้ ดังนี้

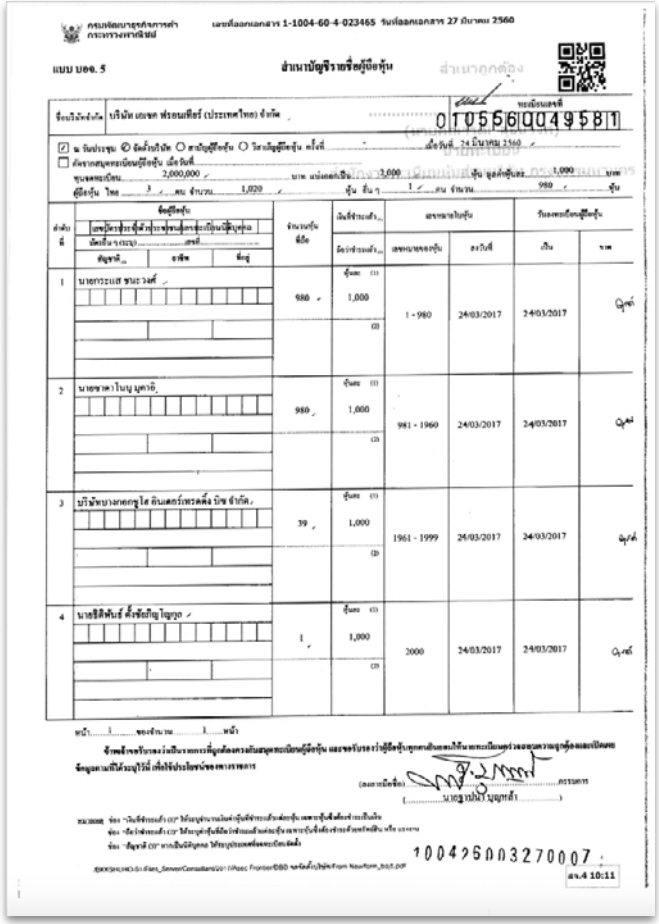
1. ชื่อบริษัท บริษัท เอเซค ฟรอนเทียร์ (ประเทศไทย) จำกัด
2. กรรมการของบริษัทมี 1 คน ตามรายชื่อดังต่อไปนี้
   1. นายฐาปนา บุญหล้า/
3. จำนวนหรือชื่อกรรมการซึ่งลงชื่อผูกพันบริษัทได้คือ กรรมการหนึ่งคนลงลายมือชื่อ และประทับตราสำคัญของบริษัท/
4. ทุนจดทะเบียน 2,000,000.00 บาท / สองล้านบาทถ้วน/
5. สำนักงานแห่งใหญ่ ตั้งอยู่เลขที่ 99/199 ซอย01 กาญจนาภิเษก 10/1 แขวงรามอินทรา เขตคันนายาว กรุงเทพมหานคร/
6. วัตถุที่ประสงค์ของบริษัทมี 31 ข้อ ดังปรากฏในสำเนาเอกสารแนบท้ายหนังสือรับรองนี้ จำนวน 3 แผ่น โดยมีลายมือชื่อนายทะเบียนซึ่งรับรองเอกสารและประทับตราสำนักงานทะเบียนหุ้นส่วนบริษัทเป็นสำคัญ

ออกให้ ณ วันที่ 27 เดือน มีนาคม พ.ศ. 2560

(นายคณาวุฒิ สุธนวงศ์)
นายทะเบียน

คำเตือน : ผู้ใช้ควรตรวจสอบข้อความท้ายหนังสือรับรองฉบับนี้ทุกครั้ง

DBD กรมพัฒนาธุรกิจการค้า กระทรวงพาณิชย์ Department of Business Development Ministry of Commerce



กรมพัฒนาธุรกิจการค้า กระทรวงพาณิชย์ เลขที่ออกเอกสาร 1-1004-60-4-023465 วันที่ออกเอกสาร 27 มีนาคม 2560

แบบ บอจ. 5

สำเนาบัญชีรายชื่อผู้ถือหุ้น

ชื่อบริษัทจำกัด บริษัท เอเซค ฟรอนเทียร์ (ประเทศไทย) จำกัด

ทะเบียนเลขที่ 0105560049581

☑ ณ วันประชุม ☑ ตั้งครั้งบริษัท ☐ สามัญผู้ถือหุ้น ☐ วิสามัญผู้ถือหุ้น ครั้งที่ - เมื่อวันที่ 24 มีนาคม 2560

☐ ตั้งจากสมุดทะเบียนผู้ถือหุ้น เมื่อวันที่

ทุนจดทะเบียน 2,000,000 บาท แบ่งออกเป็น 2,000 หุ้น มูลค่าหุ้นละ 1,000 บาท

ผู้ถือหุ้น ไทย 3 คน จำนวน 1,020 หุ้น อื่น ๆ 1 คน จำนวน 980 หุ้น

ลำดับที่	ชื่อผู้ถือหุ้น	จำนวนหุ้นที่ถือ	เงินที่ชำระแล้ว	เลขหมายใบหุ้น		วันออกหนังสือหุ้น	
				เลขหมายของหุ้น	ลงวันที่	เป็น	จาก
1	นายกระแส ชนะวงศ์	980	1,000	1 - 980	24/03/2017	24/03/2017	
2	นายชาลาโนบุ บุตาธิ	980	1,000	981 - 1960	24/03/2017	24/03/2017	
3	บริษัทยางกฤไล อินเตอร์เทรดดิ้ง บีซ จำกัด	39	1,000	1961 - 1999	24/03/2017	24/03/2017	
4	นายธีติพันธ์ ตั้งชัยกิญโญภูช	1	1,000	2000	24/03/2017	24/03/2017	

หน้า 1 ของจำนวน 1 หน้า

(ลงลายมือชื่อ) ..... กรรมการ
(นายฐาปนา บุญหล้า)

1004260032700 07

สจ.4 10:11

ทะเบียนเลขที่ 0105560049581

แบบ พห. 0401

กรมพัฒนาธุรกิจการค้า
ใบสำคัญแสดงการจดทะเบียนห้างหุ้นส่วนบริษัท

ใบสำคัญนี้ออกให้เพื่อแสดงว่า

บริษัท เอเซค ฟรอนเทียร์ (ประเทศไทย) จำกัด

ได้จดทะเบียนเป็นนิติบุคคลตามประมวลกฎหมายแพ่งและพาณิชย์

ณ สำนักงานทะเบียนหุ้นส่วนบริษัทกรุงเทพมหานคร

เมื่อวันที่ 27 มีนาคม พ.ศ. 2560

ออกให้ ณ วันที่ 27 มีนาคม พ.ศ. 2560

(นายคณาวุฒิ สุธนวงศ์)
นายทะเบียน

※上記の謄本（会社設立証明書）は、タイの商務省商業開発局バンコク会社登記事務所より発行

▶ ASEC FRONTIER VANUATU Co.,Ltd.

VANUATU FINANCIAL SERVICES COMMISSION

REPUBLIC OF VANUATU

THE INTERNATIONAL COMPANIES ACT [CAP 222]

CERTIFICATE OF INCORPORATION

Subsection 5(2)

The Registrar of Companies of the Republic of Vanuatu HEREBY CERTIFIES pursuant to the International Companies Act, [CAP 222], that all the requirements of the Act in respect of incorporation having been satisfied and that;

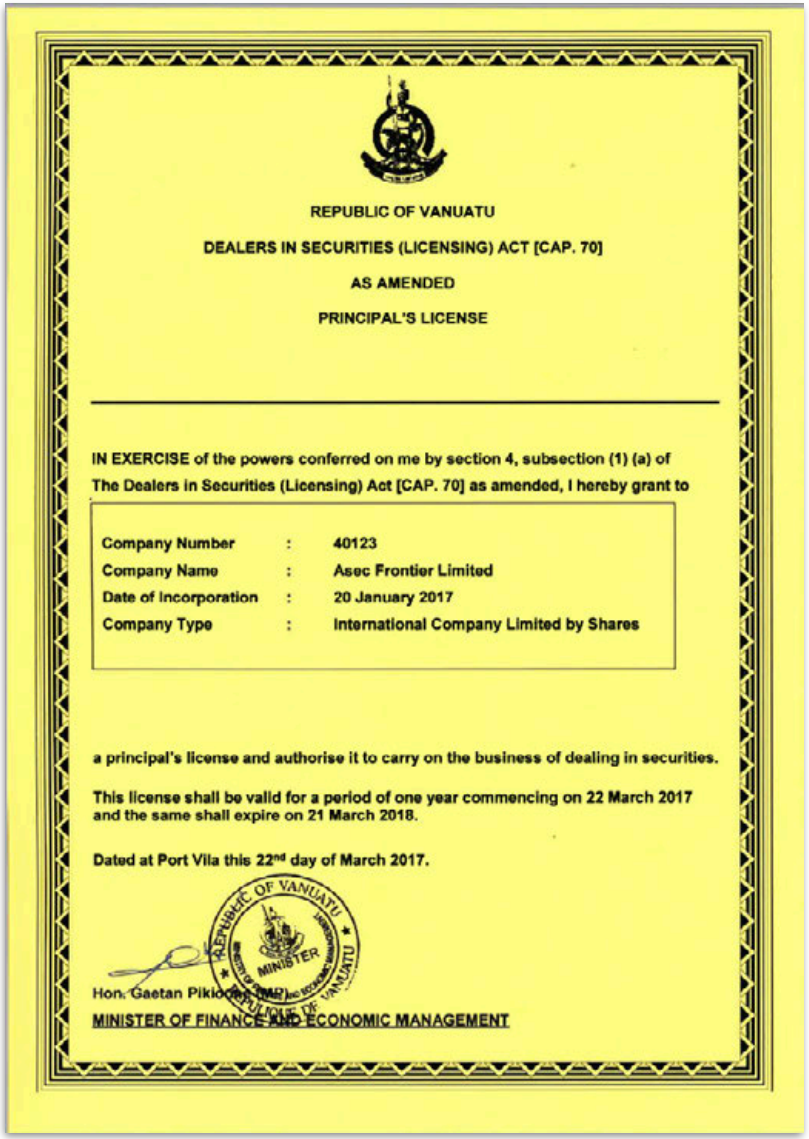
Company Name	:	Asec Frontier Limited
Company Number	:	40123
Company Type	:	International Company Limited by Shares
Date of Incorporation	:	20th January 2017

is Incorporated in the Republic of Vanuatu as an International Company this 20th day of January 2017.

Given under my hand and the Official Seal of the Commission at

Port Vila, Republic of Vanuatu

George ANDREWS
AUTHORIZED OFFICER



REPUBLIC OF VANUATU

DEALERS IN SECURITIES (LICENSING) ACT [CAP. 70]

AS AMENDED

PRINCIPAL'S LICENSE

IN EXERCISE of the powers conferred on me by section 4, subsection (1) (a) of The Dealers in Securities (Licensing) Act [CAP. 70] as amended, I hereby grant to

Company Number	:	40123
Company Name	:	Asec Frontier Limited
Date of Incorporation	:	20 January 2017
Company Type	:	International Company Limited by Shares

a principal's license and authorise it to carry on the business of dealing in securities.

This license shall be valid for a period of one year commencing on 22 March 2017 and the same shall expire on 21 March 2018.

Dated at Port Vila this 22nd day of March 2017.

Hon. Gaetan Pikioc (MP)
MINISTER OF FINANCE AND ECONOMIC MANAGEMENT

（左）バヌアツ政府発行の事業設立証明書
（右）ASEC FRONTIERの金融ライセンス（証券取引の証明書）

※ ASEC FRONTIER JAPAN Co.,Ltd.はこれから設立予定（設立後、謄本等の証明書を掲載）

Q

Dr.カセーの実績やASECプロジェクトとの関係性を証明できるものはありますか？

A

**Dr.カセーの実績や経歴は証明する動画があります。
また、ASECプロジェクトの講演会も映像として
保存されており、それらすべてが公開可能となっております。**

**次ページに、Dr.カセーの実績を証明する本人出演動画の一部を
添付しておきますので、どうぞご確認ください。**

● Dr.カセーの想い

● ASECプロジェクトの講演会動画

● 大学の卒業式典動画（チュワン元首相も登場）

● 慈善団体ADPCのメッセージ動画

Q 仮想通貨バブルは本当に起こるのでしょうか？

A 2017年から向こう数年の間に起こります。既にその兆しが見え隠れています。
３～５年後には、日常生活でも仮想通貨を利用するのが当たり前になると予測されています。

Q ASECコインはどんなことに用いられる仮想通貨なのですか？

A 事業間の決済通貨として、入金速度を高め、物流コストや事業経費を削減する仮想通貨です。
コイン購入者（保有者）様のメリットとしては、ほったらかしで利益が得られることです。

Q Dr.カセーとタパナ氏は元々どのような関係なのですか？

A Dr.カセーの政治家時代、タパナ氏はその右腕役として尽力してくれていたそうです。
その頃から変わらず、今も信頼できるパートナーだと聞いております。

Q なぜ、仮想通貨が東南アジアの貧困救済に繋がるのですか？

A ASECコイン自体が貧困問題を解消するのではなく、ASECプロジェクト全体で生まれた収益の一部を東南アジアの貧困地域へと寄付させていただきます。

Q 具体的にどのような貧困問題を解決するのですか？

A 子どもたちの教育格差を埋めるため寄付金を使って「奨学金制度の施行」を目指します。数ある問題の中でも、Dr.カセーは教育格差こそが優先的に解消すべき問題だと考えています。

Q Dr.カセーとお会いすることはできますか？

A 東南アジアを飛び回っているため、個別の面談は難しいですが、質問やメッセージを届けることは可能です。また定期的に日本で講演会を開いていますので、その際にお会いすることもできます。

Q タパナ氏がASECコインを使用してくれるという根拠はあるのですか？

A ASECコインを使用することで事業収益も増加するため、お互いの利害が一致しています。
また事業責任を背負っていただくために、ASEC FRONTIERのCEOに就任してもらっています。

Q １口１０万円とありますが、保有枚数はどのように計算すればいいですか？

A 購入時の販売価格と為替レート（直近3ヶ月の平均終値のドル円レート）で算出いたします。
また保有枚数はメンバーサイトに反映されます。**※購入後、担当者よりご案内いたします。**

Q ASECコインで本当に大儲けできますか？

A 大儲けの基準額は人によってさまざまですが、ASECコインの価値高騰は極めて可能性が高く、
持っていればもっているだけ、儲ける金額も大きくなると予想できます。

ASECプロジェクト まとめ

最後にもう一度、ASECプロジェクトの詳細を確認します

ASECプロジェクトの目的

東南アジアの貧困問題を解消

事業収益の一部を寄付して奨学金制度を施行する

■ 他の仮想通貨ではなく、ASECコインでなければならない理由

1．東南アジアの貧困解決を目指す
2．そのためにタパナ氏の人脈を活用した様々な事業を展開する
3．事業の物流・契約・送金を円滑にする独自のブロックチェーンを開発する
4．ASECコインを発行し、事業内の決済通貨として使用する予定である
5．であるから、ASECコインでなければならない

ASECプロジェクトの組織

ASEC FRONTIER（タイ・バヌアツ・日本）と２人の最重要人物（公的な事業責任者）

ASEC FRONTIER **CEO**

Dr.タパナ

ビジネス、政治、教育分野に精通する著名な実業家
三菱商事などを相手に各国との貿易業を牽引
優れた経営者を讃えるWHO'S WHO IN THAILANDに選出
経済学者でもあり、さまざまな大学理事・教授も兼任

政治家時代にカセーの右腕として活躍し
他国との貿易、国内の開発事業を請け負い
タイ経済をリードする強力なビジネスパートナーが
ASEC関連事業を全任

ASEC FRONTIER **最高顧問**

Dr.カセー

・タイ政府の保健大臣、外務大臣、首相府大臣を歴任
・アジアのノーベル賞と呼ばれるマグサイサイ賞を受賞
・日本から外国人に贈られる最高位の勲章旭日大綬章を受章
・東南アジアの貧困問題を解消する慈善団体「ADPC」創設者

タイ政府の要職を歴任し、
生涯を自国に捧げ続けた高官が
人生最後のプロジェクトに選んだのは
ASEC COINによる東南アジアの貧困救済でした。

ASECプロジェクトの戦略

関連事業の決済通貨に使用

都市開発、不動産、鉱山採掘など
事業経費や物量コストを削減し
事業収益を増加

事業収益が増加すれば、東南アジアの貧困救済資金も増え
ASECコインの流通量も増し、コインの価値が高騰する

ASECコインを購入（保有）しておくと…

仮想通貨長者への期待大！

プレセール期間中だけでも10倍
その後もさらに10倍、100倍
1,000倍と価値が高騰する見込み

ASECコインの販売価格は毎月更新されていくため
できるだけ早いうちに購入しておくのがベスト

[ASECコインのプレセール概要（予約販売）]

仮想通貨	ASEC COIN（エーセックコイン）
販売価格	1 ASEC＝10セントで販売開始
価格変動	コインの販売量に応じて、毎月１日に価格を更新
販売期間	2018年12月プレセール終了予定
購入条件	１口10万円から購入可能（購入月の価格で枚数を算出）
購入方法	専用の購入フォームよりお申込み
振込先	お申込み後、購入資金の振込先をご案内
管理方法	専用のメンバーサイトにて保有枚数の確認が可能 （購入後、メンバーサイトのアカウントを発行）
運営元	ASEC FRONTIER GROUP

日本の皆様へのご挨拶

日本のみなさん、初めまして。
この度は、みなさんがタイを中心とするSEC地域の発展にご尽力いただけることに
心より感謝するとともに、**一緒に新しい時代を作って行けることに、心が踊ります。**

実は、タイはAEC（アセアン経済共同体）の中でもFintechへの対応が遅れています。
そのため、比較的それらを受け入れる体制が取れるカンボジア、ベトナムを中心に、
普及活動を始め将来的にはこのSECからASEAN諸国へも普及させていく計画です。

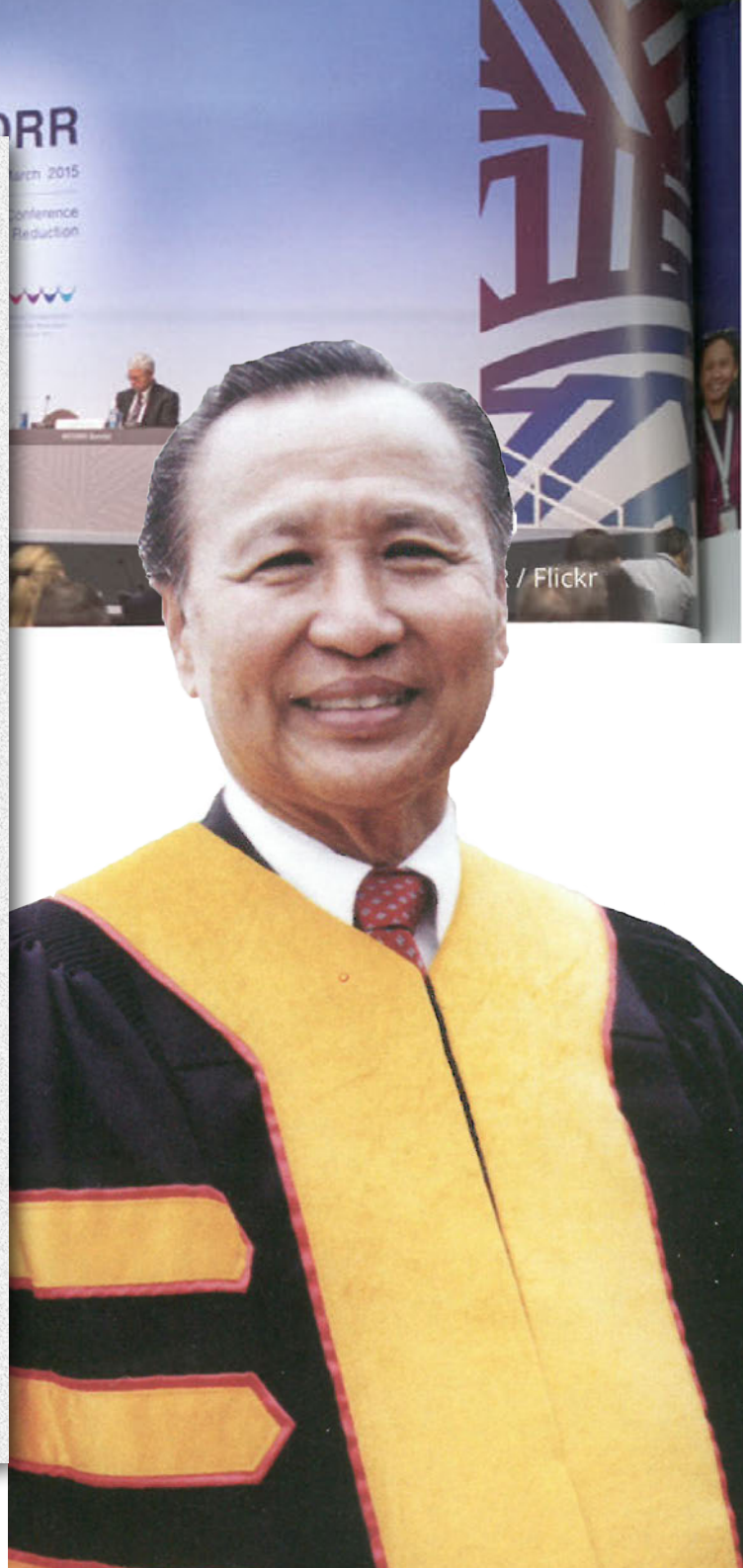
私にはそのコネクションがあり、実現が十分に可能です。

この計画を遂行するためには、恵まれたテクノロジーと資本力を持った
日本のみなさまのお力を借りることが必要だと感じています。

私は人生の集大成として、このASECプロジェクトを選びました。

何があっても成功に導くよう前進していきます。

Prof.Dr.Krasae Chanawongse



ASEC FRONTIER GROUP PRESENTS

“ASEC COIN”

東南アジアの貧困救済活動へのご支援と
仮想通貨長者への期待を込めてご購入ください

[以下のボタンをクリックしてお申込み手続きへとお進みください]

ASECコインの購入を希望する

>> ご購入に関するお問合わせはこちら <<

>> 公式WEBサイトはこちら <<

2017©ASEC PROJECT PARTNERS.co.ltd